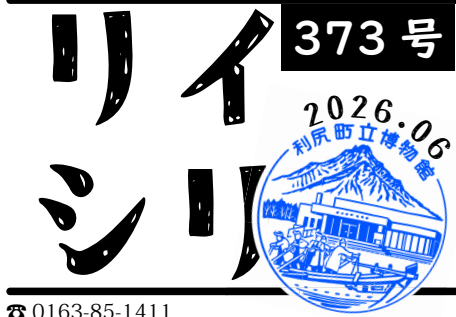


博物館だより



☎ 0163-85-1411

✉ rishiritownmuseum@town.rishiri.hokkaido.jp

〒 097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志本町 136

6/16 第6回夏の移動展示

みなさまは「蟻地獄(アリジゴク)」をご存じでしょうか？一見ただのすり鉢状の穴に見えますが、その中には昆虫が隠れており、アリなどの小さな虫が落ちると外に出れず、なすすべなく食べられてしまうため、この名前がついています。一般の方からの「アリジゴク」という名前の知名度は昆虫の中でもそこそこ高い方だと思いますが、その虫がどのような見た目をしているか、どのようにすり鉢状の穴を作るのかなど、巣のヌシについては詳しく知らない人も多いのではないのでしょうか。今回で6回目となる夏の移動展示では、この「アリジゴク」に焦点を当て、「利尻のアリジゴク展」を行います。昨年一年間の島内での調査結果をふくめ、意外と知らない基本的な生態からあっと驚くような隠された能力まで、アリジゴクに関する様々な知見を、標本とともにパネルでご紹介します。ぜひご来場ください。



【事業名】第6回夏の移動展示「利尻のアリジゴク」展【期間・場所】

① 鴛泊フェリーターミナル：6/15 (火) ～ 6/22 (月)、② ホテル利尻 (温泉入口)：6/23 (火) ～ 6/29 (月)、③ どんと (ホワイエ)：6/30 (火) ～ 7/6 (月)、④ 仙法志郵便局：7/7 (火) ～ 7/13 (月)、⑤ 博物館ロビー：7/14 (火) ～ 7/31 (金)。博物館での展示では、一部の種について生きた実物の展示も予定しています。※展示の移動は展示初日の午前中に行う予定です。

6月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

- 鴛泊フェリーターミナル
- ホテル利尻 (温泉入口)
- どんと (ホワイエ)
- 仙法志郵便局
- 博物館ロビー

6/27 池の生き物観察会

森林公園には小さな人口の池があります。トンボ類やゲンゴロウ類な



どの水生昆虫、エゾアカガエルなどの目で見える動物たちはもちろん、ミジンコのなかまなどのような肉眼ではどんな形か見えないような小さな動物など、様々な生き物が棲んでいます。本州では水田やため池のような人口の環境と周辺の湖沼などの水域で生息する生物種が異なっている例も知られており、森林公園の池も、近くの沼などとはまた違った生き物が生息している可能性もあります。この観察会では水中に生息する水生昆虫やプランクトンなどの採集と観察を行います。小さな生き物については顕微鏡やルーペを使って、実際に動いている様子なども観察する予定です。池の中の生き物たちの暮らしをのぞいてみませんか。

【事業名】池の生き物観察会【日時】6/27 (土) 9:00 ～ 10:00。雨

6月の開館カレンダー

毎週月曜日は休館となります。

6月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

りしりよもやまばなし 利尻四方山話

その5 ロイコクロリディウム



◀平松ら (2025) の利尻の記録はこちらからダウンロードできます！

ロイコクロリディウムは、寄生性の「扁形動物（プラナリアなどが有名な仲間）」で、オカモノアラガイの仲間（カタツムリの一種）を中間宿主とします。この仲間は宿主に入り込むとカラフルな縞模様の虫体を形成し、目の中で前後に動くことで、目立つ目を虫と勘違いした鳥に捕食させ、鳥の中で成体になります。その際、中間宿主となったオカモノアラガイを「より明るい場所へ向かうように」「より地面から高い場所へ向かうように」「より長距離を移動するように」コントロールする事で鳥に見つかりやすくする事が知られています。利尻島では、平松ら (2025) によって、縞が緑色のもの (*Leucochloridium paradoxum*) と赤色のもの (*L. perturbatum*) の2種が記録されました。先日、島民の方が博物館に持ち込んでくださったものは縞が赤色のため、後者の種と思われます。

天・悪天の場合は中止いたします。

【場所】 利尻町杵形・森林公園（池の森）。**【集合場所】** 森林公園 駐車場。**【持ち物・服装】** 長靴などの濡れてもよい靴でお越しくください。タオルのほか、お持ちの方はたも網などの採集用具をご持参ください。**【申込】** 6/25（木）まで。博物館にメールまたはお電話にて、(1)お名前、(2)前・当日つながる電話番号をお知らせください。中止の場合にご連絡いたします。定員は10名程度を予定しています。

掲示板

傷病鳥 ▼マヒワ、5/5、鴛泊、浅井ひろこ。 ▼ツグミ、5/5、杵形、佐々木利来。 ▼ウグイスの仲間、礼文・香深、オオコノハズク、礼文・船泊、ブッポウソウ、礼文・香深、5/13、宮本誠一郎。 ▽貴重なサンプルのご提供、まことにありがとうございます。いただいたサンプルは今後標本化の予定です。

リイシリの購読・閲覧 博物館のホームページにて、最新号のほか過去2年分のバックナンバーを公開中。発行時に配信する「発行お知らせメー

ル」もありますので、ぜひご利用ください。ネット環境が無い方、メールでの受け取りが出来ない方の場合、利尻町内の方には無料でお配りしているほか、町外の方には郵送料のご負担をいただければ定期購読も可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

編集後記 宗谷管内の学芸員らが情報交換や協力することを目的とした「宗谷管内学芸職員連絡協議会」というものがあり、当館学芸員も参加しています。今年度は5月20・21日に利尻町を会場として総会・研修会が行われました。総会では本協議会が主催で毎年行っている「宗谷管内巡回展」に関する話し合いも行われました。当館でも夏ごろに巡回する予定なのでご期待ください！研修



会では、ご参加された学芸員の皆様に博物館までご足労いただいて、近年当館で行っている新たな取り組みなどを紹介し、展示や資料管理の工夫についても情報交換を行いました。いただいた情報を元に、よりよい館にしていけるよう、精進します。ちなみに、本協議会が稚内建設開発部と連携して行っている事業のひとつに宗谷管内にある歴史的建造物や名所などを紹介するサイト「宗谷遺産アーカイブズ」の作成があります。このサイトでは各地の学芸員がまとめたそれぞれの市町村の「未来へ残したい宗谷遺産」の写真や情報を閲覧することができます。また、それぞれの遺産について、google マップ上で所在地を確認することもできますので、実際に見に行く場合などにも活用できるかと思います。ただし、場所によっては立ち入りに制限のある場所や危険を伴う場所もあるため、事前どのような場所か下調べしたうえで見に行くようにしましょう。



◀宗谷遺産アーカイブズのサイトに飛びます。ご興味ある方はどうぞ！

ロイコクロリディウムに感染した鳥の糞中には卵が含まれており、それを食べたオカモノアラガイに寄生し広がっていくそうです。